|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| タイトル  番号 | タイトル | 項目 番号 | 項目 | 自己評価 | | | | | 外部評価 コメント |
| 実施状況 | | | | コメント |
| でき てい る | ほぼ でき てい る | でき てい ない こと が多 い | 全く でき てい ない |
| Ⅰ 構造評価 （Structure） ［適切な事業運営］ | | | | | | | | | |
| （１） 理念の明確化 | | | | | | | | | |
| ① | サービスの特徴を踏まえた理念の明確化 | 1 | 当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生 活の継続」と「心身の機 能の維持回復」を実現す るため、事業所独自の理 念を掲げている |  |  |  |  |  |  |
| （２） 適切な人材の育成 | | | | | | | | | |
| ① | 専門技術の向上のための取り組み | 2 | 管理者と職員は、当該サービスの特徴および事 業所の理念について、そ の内容を十分に認識し ている |  |  |  |  |  |  |
| 3 | 運営者は、専門技術（アセスメント、随時対応時 のオペレーターの判断 能力など）の向上のた め、職員を育成するため の具体的な仕組みの構 築や、法人内外の研修を 受ける機会等を確保し ている |  |  |  |  |  |  |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| タイト ル 番号 | タイトル | 項目 番号 | 項目 | 自己評価 | | | | | 外部評価  コメント |
| 実施状況 | | | | コメント |
| でき てい る | ほぼ でき てい る | でき てい ない こと が多い | 全く でき てい ない |
| ① |  | 4 | 管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している |  |  |  |  |  |  |
| ② | 介護職・看護間の相理解を深めるための機会の確保 | 5 | 介護職・看護職の間で、  利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている |  |  |  |  |  |  |
| （３） 適切な組織体制の構築 | | | | | | | | | |
| ① | 組織マネジメントの取り組み | 6 | 利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置（業務・シフトの工夫）を行っている |  |  |  |  |  |  |
| ② | 介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映 | 7 | 介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、  助言等（サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等）を、サービスの提供等に適切に反映させている |  |  |  |  |  |  |
|  |  |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| タイトル  番号 | タイトル | 項目 番号 | 項目 | 自己評価 | | | | | 外部評価 コメント |
| 実施状況 | | | | コメント |
| でき てい る | ほぼ でき てい る | でき てい ない こと が多 い | 全く でき てい ない |
| （４） 適切な情報提供・共有のための基盤整備 | | | | | | | | | |
| ① | 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備 | 8 | 利用者等の状況について、（個人情報管理に配 慮した上で）必要に応じ て関係者間で迅速に共 有できるよう工夫され ている |  |  |  |  |  |  |
| （５） 安全管理の徹底 | | | | | | | | | |
| ① | 職員の安全管理 | 9 | サービス提供に係る職員の安全確保や災害時 の緊急体制の構築等た め、事業所においてその 具体的な対策が講じら れている（交通安全、夜 間訪問時の防犯対策、災 害時対応等） |  |  |  |  |  |  |
| ② | 利用者等の個人情報の保護 | 10 | 事業所において、利用者等に係る個人情報の適 切な取り扱いと保護に ついての具体的な工夫 が講じられているとと もに、管理者や職員にお いて共有されている |  |  |  |  |  |  |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| タイトル  番号 | タイトル | 項目 番号 | 項目 | 自己評価 | | | | | 外部評価 コメント |
| 実施状況 | | | | コメント |
| でき てい る | ほぼ でき てい る | でき てい ない こと が多 い | 全く でき てい ない |
| Ⅱ 過程評価 （Process） | | | | | | | | | |
| １．利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 | | | | | | | | | |
| （１） 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成 | | | | | | | | | |
| ① | 利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施 | 11 | 利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセ スメントが提案されて いる |  |  |  |  |  |  |
| 12 | 介護・看護の両面からのアセスメントが適切に 実施され、両者の共有、 つき合わせ等が行われ ている |  |  |  |  |  |  |
| ② | 利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成 | 13 | 利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた 計画の作成が志向され ている |  |  |  |  |  |  |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| タイトル番号 | タイトル | 項目 番号 | 項目 | 自己評価 | | | | | 外部評価 コメント |
| 実施状況 | | | | コメント |
| でき てい る | ほぼ でき てい る | でき てい ない こと が多 い | 全く でき てい ない |
|  |  | 14 | 重度化しても医療依存度を高め過ぎないよう、 利用者の今後の変化を 予測し、先を見越した適 切なリスク管理を実現 するための、「未来志向 型」の計画の作成が志向 されている |  |  |  |  |  |  |
| （２） 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し | | | | | | | | | |
| ① | 計画上のサービス提供日時に影響されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応サービスの提供 | 15 | 計画上のサービス提供日時以外であっても、利 用者等の状況に変化が 生じた場合は、必要に応 じて新たに定期巡回・随 時対応サービスの提供 日時を設定するなど、柔 軟な運営に努めている |  |  |  |  |  |  |
| ② | 継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映 | 16 | サービス提供を通じた、 継続的なモニタリングによる、利用者等の状況 変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われ ている |  |  |  |  |  |  |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| タイト ル 番号 | タイトル | 項目 番号 | 項目 | 自己評価 | | | | | 外部評価 コメント |
| 実施状況 | | | | コメント |
| でき てい る | ほぼ でき てい る | でき てい ない こと が多い | 全く でき てい ない |
| （３）介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供 | | | | | | | | | |
| ① | 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供 | 17 | より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を生かした役割分担が行わている |  |  |  |  |  |  |
| ② | 看護職によるサービス提供に関する指導、助言 | 18 | 看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、  指導、助言が行われている |  |  |  |  |  |  |
| （４） 利用者等との情報及び意識の共有 | | | | | | | | | |
| ① | 利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供 | 19 | サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、  訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、  十分な情報提供・説明が行われている |  |  |  |  |  |  |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| タイト ル 番号 | タイトル | 項目 番号 | 項目 | | 自己評価 | | | | | 外部評価 コメント |
| 実施状況 | | | | コメント |
| でき てい る | ほぼ でき てい る | でき てい ない こと が多い | 全く でき てい ない |
| ② | 利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供 | 20 | 作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている | |  |  |  |  |  |  |
| 21 | 利用者の状況の変化や、  それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている | |  |  |  |  |  |  |
| ２．多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント | | | | | | | | | | |
| （１） 共同ケアマネジメントの実践 | | | | | | | | | | |
| ① | 利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報  共有及びケアプランへの積極的な提案 | 22 | ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、  サービスの提供日時等が共同で決められている |  | | |  |  |  |  |
| 23 | 計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案（地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む）が行われている |  | | |  |  |  |  |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| タイト ル 番号 | タイトル | 項目 番号 | 項目 | 自己評価 | | | | | 外部評価 コメント |
| 実施状況 | | | | コメント |
| でき てい る | ほぼ でき てい る | でき てい ない こと が多 い | 全く でき てい ない |
| ② | 定 期 的 な アセ ス メ ン ト 結 果 や 目 標 の 達 成 状 況 等に関する、 多 職 種 へ の 積 極 的 な 情 報提供 | 24 | サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等 の状況や計画目標の達 成状況について、多職種 への情報提供が行われ ている |  |  |  |  |  |  |
| （２） 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献 | | | | | | | | | |
| ① | 利用者の在宅生活の継続に必要となる、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討 | 25 | 利用者の在宅生活の継続に必要となる、包括的 なサポート（保険外サー ビス、インフォーマルケ ア等の活用を含む）につ いて、必要に応じて多職 種による検討が行われ ている（※ 任意評価項 目） |  |  |  |  |  |  |
| 26 | 病院・施設への入院・入所、及び病院・施設から の退院・退所の際など に、切れ目のない介護・ 看護サービスを提供す るために、必要に応じて 多職種による検討や情 報の共有が行われてい る（※任意評価項目） |  |  |  |  |  |  |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| タイト ル 番号 | | タイトル | 項目 番号 | 項目 | 自己評価 | | | | | | | | | | | | | 外部評価 コメント |
| 実施状況 | | | | | | | | | | | コメント | |
| でき てい る | | ほぼ でき てい る | | | でき てい ない こと が多 い | | | | 全く でき てい ない | |
| ② | | 多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案 | 27 | 地域における利用者の  在宅生活の継続に必要 となる、包括的なサポー ト体制を構築するため、 多職種による効果的な 役割分担や連携方策等 について検討し、共有が されている（※任意評価  項目） |  | |  | | |  | | | |  | |  | |  |
| ３．誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| （１） 地域への積極的な情報発信及び提案 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ① | 介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信 | | 28 | 介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも 見ることのできるよう な方法での情報発信が、 迅速に行われている |  | | |  | | |  | |  | | |  |  | |
| 29 | 当該サービスの概要や効果等についての、地域 における正しい理解を 広めるため、積極的な広 報周知が行われている | |  | | |  | | |  |  | |  | |  | |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| タイト ル 番号 | | タイトル | | 項目 番号 | | 項目 | 自己評価 | | | | | | | 外部評価 コメント |
| 実施状況 | | | | | | コメント |
| でき てい る | ほぼ でき てい る | でき てい ない こと が多い | | 全く でき てい ない | |
| （２） 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画 | | | | | | | | | | | | | | | |
| ① | 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解 | | 30 | | 行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している | |  |  |  |  | |  | |  | |
| ② | サービスて協における、地域への展開 | | 31 | | サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている | |  |  |  |  | |  | |  | |
| ③ | 安心して暮らせるまちづくりにむけた、積極的な課題定期、改善策の提案等 | | 32 | | 当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等（保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等）が行われている（※任意 評価項目） | |  |  |  |  | |  | |  | |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| タイト ル 番号 | タイトル | 項目 番号 | 項目 | 自己評価 | | | | | 外部評価 コメント |
| 実施状況 | | | | コメント |
| でき てい る | ほぼ でき てい る | でき てい ない こと が多 い | 全く でき てい ない |
| Ⅲ 結果評価 （Outcome） | | | | | | | | | |
| ① | サービス導入後の利用者の変化 | 33 | サービスの導入により、  利用者ごとの計画目標 の達成が図られている |  |  |  |  |  |  |
| ② | 在宅生活の継続に対する安心感 | 34 | サービスの導入により、  利用者等において、在宅 生活の継続に対する安 心感が得られている |  |  |  |  |  |  |